

自治体が妊娠や出産を支援

内容は市・町によって異なるので確認を

人生には、さまざま節目があります。今回は、妊娠・出産という節目に対して、石川県や市・町が行っている各種支援策についてご紹介します。

まず妊娠の届け出を

妊娠したことが分かる病院で「妊娠証明書」をもらい、福祉健康センターなどへ妊娠の届け出を行えば、「母子健康手帳」の交付と同時に、「母子保健のしおり」が渡されます。「母子健康手帳」は、お母さんと子どもの健康を守るために作られたものです。検診や予防接種のときには必ず持参して、妊娠・出産の状態や子どもの発育状況などを記録しましょう。

「母子保健のしおり」には、乳幼児期の保健サービスや、前回ご紹介した医療費助成制度の説明、妊産婦・乳幼児が無料で一般健康診査が受けられる「健康診査受信票」が入っています。「妊婦健康診査」は、平成21年4月から無料で受けられる回数が5回から14回に増えました。新たに市や町へ転入した人で、その自治体の「母子保健のしおり」を持っていない場合は、「母子健康手帳」を持って保健センターなどへ行けばもらえます。

子どもが生まれたら

子どもが生まれると、14日以内に名前を付けて出生届を提出します。子育て支援として、国から1カ月1万3000円、子ども手当が4月から(支給は6月)始まりました。

石川県の施策として、子どもが3人以上いる家族を県内の協賛企業が支援する「プレミアム・パスポート」があります。それ以外にお住まいの市・町でも、独自の施策が行われています。お住まいの市・町でどのような施策が行われているかは、ホームページなどで確認できます。

市・町の具体的な支援例

例えば、金沢市、七尾市、かほく市、津幡町では、出産したときのお祝いとして、育児用品や商

	出産のお祝い	産後ヘルパー派遣	無料一時預かり	チャイルドシートの補助
金沢市	○	○	○	
野々市町		○	○	
白山市		○	○	
内灘町			○	○
津幡町	○		○	○

品券がもらえます。内灘町、津幡町などでは、チャイルドシート購入の補助を行っています。金沢市、野々市町、白山市などでは、出産日から1年未満の産婦がいる家庭で、産婦が体調不良などで育児や家事が困難な場合にヘルパーを派遣する事業を行っています。野々市町、白山市、内灘町、津幡町などでは、妊婦や子育て中のおかあさんが、身近な保育所等で「マイ保育園」「マイ幼稚園」を登録すると、出産前から3歳になるまで、保育士から育児支援を受けることができたり、一時預かりの無料券がもらえたりします。

また、金沢市では、「産後あんしんヘルパー派遣事業」や「産後ママヘルパーの派遣」、保育所の一時預かりの利用料などに対して、2歳の誕生日前日まで子ども1人当たりにつき3万円相当が助成されるサービス券を支給しています。これは申請が必要です。

それ以外にもファミリーサポートセンターが設けられていたり、内灘町では、絵本2冊の引換券を配布したりしています。このような施策は、お住まいの市・町で異なりますが、市や町の子育て支援も上手に活用したいですね。

サティファイド
ファイナンシャルプランナー
高橋 昌子
暮らしのマネープラン
相談センター・所長



6月生 受講生募集中! 国家資格「3級FP技能士講座」

「3級FP技能士講座」は国家資格を取りたい方、転職、就職を目指す方に役立つ講座です。また、2級FP技能士を目指す方の復習に役立ちます。

【日時】毎週土曜日、全12回(各9時30分～12時30分)

【会場】株式会社FPサポート研究所(金沢駅西口徒歩2分)

【費用】受講費25,200円+教材費4,200円 【定員】10名

※個人情報保護法に基づき、資料送付及びご連絡にのみ利用させていただきます。

●資料請求は①氏名・②年齢・③住所・④電話番号を明記し、FAX(076-232-8491)またはTEL(076-232-2038)、E-MAIL(fpsf@fpsl.co.jp)までお申込み下さい。

6月5日(土)開講 (全12回)

資料請求
問い合わせ

NPO法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 認定教育機関

株式会社 FPサポート研究所

〒920-0031 金沢市広岡1-3-1 シャンブル18ビル2F

http://www.fpsl.co.jp ☎076-232-2038

